

かえる便り 29年度26号

平成29年11月6日

晩秋の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

部員達が目指してきた選手権大会の結果は御承知のことと存じますが、準々決勝で
滋南高校に大敗しました。サッカーの根幹である“何処に”“どのように”“いつ”

といった判断を伴った技術や攻守の動きにおける“細部の拘り”の面において大きな差がありました。つまり、何処に止め、いつパスするかなどの技術精度、ボール無しの動きの判断が格段に違っていました。指導力不足で申し訳ありません。

休むこともなく真面目に練習してきた3年生がいます。その数名を大会に出すことが出来なくて本当に申し訳なく思います。誰も試合に出たいと思うのが当然ですが、チームの勝利を追求すれば、“能力（指示されたことが出来る）”がある選手を使わなければなりません。選手は出られない部員の想いを背負って戦いに臨んで欲しいものです。



先般行われた U-17W 杯で準優勝したスペインチームは、大会期間中も勉強する時間を毎日設定して実行させていたそうです。国を代表する選ばれた選手であっても、長くサッカー界で活躍できるとは限らないという考えからです。また、ヨーロッパの強豪クラブでは、選手は国を代表する外交官であるという認識のもと指導していると聞いています。何故、私が勉強との両立を願うかを考えて欲しいですね。

全部員が本当に同じ方向を向いているか、安易に練習を休むことなく真摯に計画的に取り組んできたか、要求されたことをやり抜く努力をしたかなどを反省してほしい。私たちスタッフも部員達の力を最大限に引き出す努力をしてきたかを反省して新チームの指導に当たりたいと思います。

3年生で進路が決まっていない生徒が数名います。僅かな期間しかありませんが、己の選んだ道を歩めるよう努力して下さい。1.2年生は新主将・副将を中心に全部員が同じ目標に向かって真剣に取り組むとともに、自分の人生を切り拓くために両立をする努力を日々心掛けるよう強く求めます!!

大会期間中、多くの皆様やOBに応援をしていただきありがとうございました。皆様方のご支援に応えることが出来なく申し訳ありません。また、差し入れをしていただき大変助かりました。衷心より感謝申し上げます。

(主将に山本君、副将に河合君、田中君、久堀君が選ばれました)